

対策を知り、対策する



現場ごとに状況が異なりますが、まずは色々な対策を知り、自分たちの環境を見つめるのも一考です。安全の正解不正解は難しいですが、作業者が「安心する」事は一つの正解だと思います。

Before



パーラー内のハシゴが滑りやすくて危険…

After



滑り止めテープを巻き付けて改善!



昇降時の安心感が
増えました!

Before



パーラー内の階段が滑りやすくて危険…

After



滑り止めをビス留めして改善!



とても滑りにくく
なりました!

Before



牛に足を踏まれ、
ケガをした…

After



足の甲プロテクターを装着して改善!
先芯入り長靴もおすすめです!



アルミ製なのに軽くて
違和感が無いです!

Before



安全対策が無く、高所で作業する際、落下する危険性があった...

After

ロープ三角標識を設置



作業者落下防止のためゲートを設置

作業時はハーネスと命綱を装着



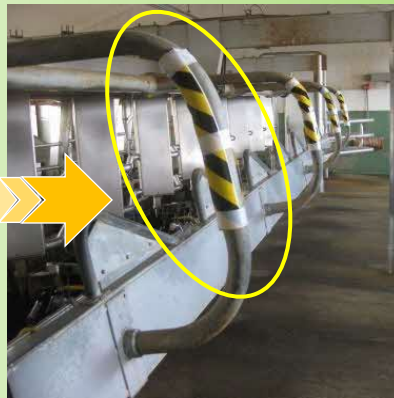
ゲートを解放して作業する時は転落防止用バーをセット

Before



パーラー内で牛に薬を飲ませようとしたところ、牛が頭を振り手の甲を鉄柱に打ち付けた

After



クッション性のあるトラテープを巻き付けた



手の甲用プロテクターを購入

Before



アスファルトの凹凸があり、車両走行時にはまりそうになったり、作業者がつまづく危険があった...

After



マイルドパッチ(水との反応により硬化するアスファルト材)で補修して改善!

足場の安心感が増した



Before



水回りの作業時、床が滑りやすくて危険・・・

After



耐滑先芯入りの長靴を購入!

滑りにくく、
作業者の安心感
が増えました

Before



普段つなぎを着て作業しているが、牛に挟まれて危険な目に遭う可能性が・・・

After



軽くて作業
しやすい!

装着に慣れると、
逆に装着していない
と不安になるくらい



挟まれたりどつかれた時に
胸部を保護できるチェスト
アーマーを装着して、作業を
行っています!

Before



パーラー内の、ゲート支柱の両端が
作業者の頭部に当たりそうだった・・・

After



トラテープで
目立つように



頭上注意ステッカーとトラテープを貼り、注意喚起!

Before



低い位置にパイプラインの配管があり、頭にぶつけそうだった…



After



目立つように、配管にトラテープを巻き付けて注意喚起!

Before



処理室内の床にホースがあり、作業者がつまずきそうで危険…



After



ホースがある時は「足元注意」のサインスタンドを置くようにした!

Before



ません棒の先端がおき出しになっており、作業者がケガをする危険があった



After



先端の切り口にキャップをはめて改善!

Before



給餌車の中に入って残渣を掃除する作業があり、刃に当たって負傷した・・・

After

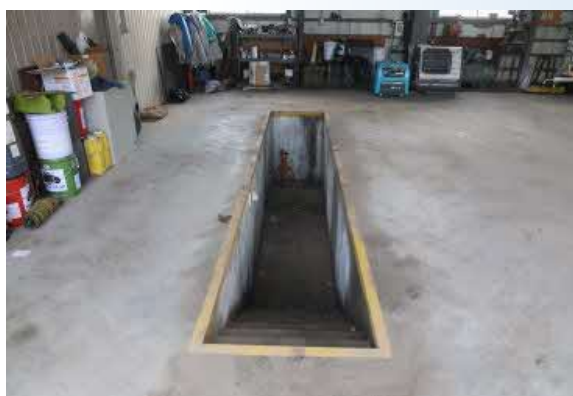


エサの投入量を制限し、脛プロテクターを購入して改善！

耐切創手袋も購入！



Before



車両作業用ピットのふちの危険帯表示が薄くなっていた

After



転落防止の囲いや蓋も検討中です

太さを倍にして塗り直して改善！

Before



病牛を起立させようと尾を引っ張った際、牛が急に動いた弾みで左足が滑り、バークリーナーに転落、左足を負傷（アキレス腱部分断裂）した。

After



牛の間に入る作業時、「人が入る側」に牛の頭を固定するようにした

Before

倒れた柱



パドックのゲートの支持柱を修理しようとしたところ、柱が自分に向かって倒れてきた! 背後に仔牛が身体を寄せていたので逃げられずに頭部を打った...

After

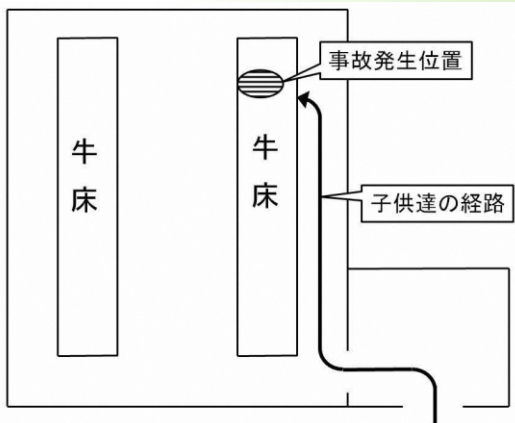
倒れた柱の基部を補修した



不安定なものは複数箇所を固定する、ヘルメット着用の重要性を認識した

他に危ない柱がないかも確認した

Before



搾乳中、牛舎に入ってきた子供の声に驚いた牛に左太ももを踏まれ、左足首を捻った

After



事故当時を再現した様子

家族ルール
の徹底!
『牛の近くでは
大声や大きな
音を出さない』

子どもたちに牛舎
内での注意事項を
守ってもらいます

Before



バークリーナーのミッション付近に引っかかったわらを除去して降りようとしたところ、つまずいてコンクリートの堆肥盤に落下した

高所作業を行う際は
ヘルメットを着用す
る必要があります

After

自作した
てすり



バークリーナーのミッション付
近まで、丸パイプで手すりを自作
して設置した

Before



1カ月以上、車の
運転が出来なくなった。
後遺症もある。

消石灰を牛床に散布していた際、発情牛に追突され、手に持っていた消石灰入れを床に落とし、舞い散った消石灰が両目に入った

After



防護ゴーグルを
数種類試した



消石灰入れ

持ち手が針
金で細いの
で、改良の
余地あり！

ゲートを閉めて、周囲の安全を確認できてから消石灰を手にとるという手順の実施を考えています

Before

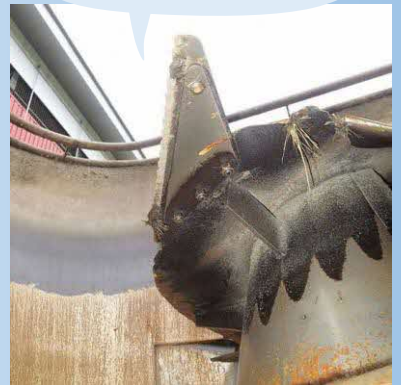


給餌作業後、ホッパー内部に入
って残渣掃除を行っていたところ、
誤って左手が飼料混合用の回転
刃に接触し、甲を切った



他の清掃方法がとれることが望ましいが、内部に入らざるを得ない場合は、耐切創性手袋や作業着、ヘルメット、安全靴を導入する必要がある！

切断刃カバー
もあると良い！



Before



分娩した牛を牛舎に移動する際、牛が動かなか
った。引っ張っていたら牛が急に動き出し、
ロープが手首に巻きついてそのまま引っ張ら
れ、左手首を負傷した

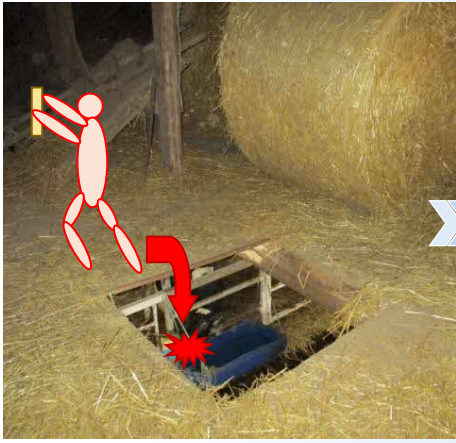
After



「いつもは大人しい牛」
と油断しないこと！

緊急時、すぐにロープを離せる
ように持つようにした

Before



牛舎の屋根裏でクモの巣清掃を行っていた。後ろに下がりながら作業していたところ、敷料投下用の穴に転落し、頭部右側を強打して出血した

After

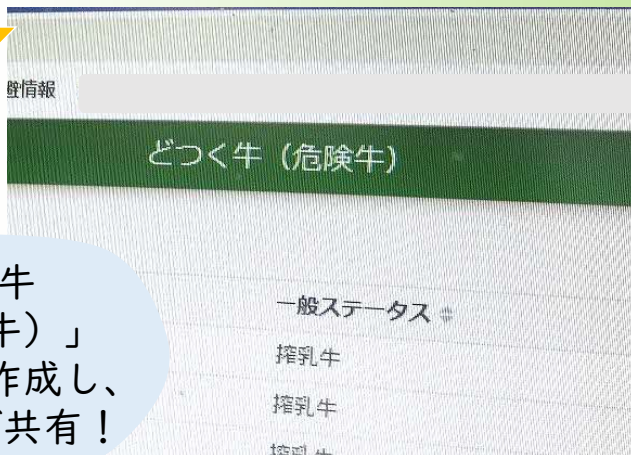


はしごにヘルメットを常備しており、2階に登る時は必ず着用しています

Before

昼過ぎに従業員が牛舎へ作業に行った際、牛舎の飼槽付近に別の従業員が倒れているのを発見した。事故後すぐであり、従業員に近づくと「牛にやられた(本人談)」と答えた。すぐ病院に運ばれたが、ろっ骨を骨折しており肺も損傷していた。

After



「どつく牛 (危険牛)」リストを作成し、作業員で共有!



牛舎内作業員は乗馬用プロテクターを装着しています



過去にどついた牛を「鈴」と「赤い首ベルト」で判別できるようにした



危険に備え、「護身用の棒」を牛舎に常備している